一般質問の質問者順番と質問事項

（令和７年　第２回定例会）

質問順位	９　　４番議員　　佐々木　教雄	
質問事項１	機構改革による新設組織の本気度について	
質問の要旨	本年度、新たにプラチナ社会政策課、商工観光課が設置されました。これは今後 10 年の高齢化社会に向けて取組の強化を行い、高齢者の安定した暮らし、安心できる暮らしのサポート体制の確立を目指したものと理解している。また、商工観光課は事業を実施するにあたり、安定した財務基盤の確保と、地域の活性化、商業、観光を通して基山町に元気と明るさをもたらすことを目指してのことだと受け止めている。 この二つの新体制は、今後 10 年の町行政において重要な位置にあると考え、その意気込みを問う。	
具体的な質問及び質問の相手	（１）　プラチナ社会政策課について ア　取り組む事業は多岐にわたるが、優先順位の上位三つを示せ イ　その具体的事業施策を示せ （２）　商工観光課について ア　商業について （ア）　商業には小売り、卸しの物販、飲食を含むサービス、商品企画等々あるが、どの分野に注力していくのか （イ）　その注力分野の支援策を示せ イ　工業について （ア）　施政運営方針でも、企業誘致を積極的に行う意気込みを示したが、誘致の具体的な場所・規模・今後のスケジュールについて考えを示せ （イ）　誘致に当たり、佐賀県企業立地促進特区の指定を受けた場合、当町の企業が受ける企業立地奨励金、企業立地促進特区補助金などの制度利用にかかる優位性を示せ ウ　観光について （ア）　基山町観光の弱点は宿泊施設が無いことである。ホテル誘致、宿泊施設対策の考えを示せ （イ）　町内観光として、一日コース・半日コースを企画するとのことだが、観光商品として売	町　長 町　長

	り出せる水準の内容を考えているか	